



日本共産党区議会議員

伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952  
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)  
日本共産党区議団 直通3880-5770  
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

# 希望がもてる政治に 改革するため奮闘!

## 日本共産党



新年度予算で、区は少子高齢化を口実に新たな福祉切り捨てを行っています。高齢者が増えているのに

に老人福祉費は減りつづけ、高齢者一人あたり平成3年は8万5539円だったものが23年度

では4万9363円で半分近くまで少なくなっています。毎年、高齢者が増えているという変化に対応することこそ求められています。

いきいきと暮らせる施策を



本会議で討論する伊藤和彦議員

高齢者のために予算を増やし  
生きがいを励ます区政に!

日本共産党は、いま高齢者は年

金を減らされ、介護保険料、国保料、後期高齢者医療保険料は値上げされ、そのうえ消費税増税。さらに「生きがい奨励金も減らす」と言うのでは「生きがいの削減」と追及しました。

区は、奨励金は(4千円から3千円に削減)生きがいを持つものらう「きつかけ」を意味するもので4千円に戻す考えはない。と冷たい答弁。区は削減した財源を肺炎球菌ワクチン助成に振り向けたかのように言っています。区が区算のわずか0.04%で「生きがい奨励金」を削減せずに維持できると提案。肺炎球菌ワクチン助成と同時に進めることは可能であると指摘しました。

「足立区議会・本会議を傍聴しました。我われの暮らしが大変な時に、共産党の議員が入り替わり立ち代り行った討論を聞いて、胸が熱くなる思いでした。圧巻でした!みんなに知らせたい。がんばりたいと思いました」  
(保木間・Tさん)

高齢者が増えるというなら、元気でいきいきと暮らせるための施策を立ててこそ時代の変化に対応したものになると区の姿勢をただしました。

## 区民の「絆」スタスタ

区は「絆」「地域の力」を強調し、「住民との協働」が基本構想の骨格といつて「地域の力推進部」まで発足しました。

しかし区は、男女共同参画課を「係」に格下げし体制を弱めたために、足立区女性団体連合会からも驚きや怒りの声があがっています。

また、リサイクルセンターの運営を区民主体から株式会社に変更するなど、絆を断ち切るやり方に今まで惜しみない協力をしてきた

NPO法人あだち環境リサイクル協会の役員やボランティアの方々から「私たち

の活動は足立区に協力することにより環境・リサイクルの啓発が区民全体のものになると思つてやってきた」「儲けを目的にする株式会社になつたらもう協力したくない」と怒りが広がりました。

千寿第5小学校の統廃合は保護者だけでなく地域全体も反対し、署名は1万1756名を超え、地域の防災拠点無くし、絆も壊す行為そのものです。

区が区民との協働を断ち切り、寸断する姿勢はとても「絆」が大切といえるものではありません。

2面につづく

## 最終本会議で共産党6人が討論

3月27日定例議会・最終本会議で日本共産党議員の6人が反対討論を行いました。



図書館などを教育委員会から「地域の力推進」に、保育など福祉分野

を教育委員会に所管を変えるなどで区民生活に重大な懸念ある組織改定条例では、ぬかが和子区議。生きがい奨励金を減らす条例は認められないと、針谷みきお区議。年額14280円も大幅に介護保険料を値上げする条例には、はたの昭彦区議。区が廃止してしまった生業資金貸付制度を復活し生活を維持する第2のセーフティネットの拡充を求める条例では、鈴木けんいち区議。住宅改良助成(住宅リフォーム)を求める条例では伊藤和彦区議。自民・公明・民主などの東京にオリンピック招致決議に対する討論ではさとう純子区議が行いました。各討論は足立区議会ホームページ・インターネットで詳しく見られます。



# 住宅リフォーム助成を提案!

## 住環境向上を図り、地域活性化に役立つ



### 日本共産党は 住宅リフォーム助成制度で地域経済活性化をすすめようと提案

日本共産党は、区民が行う住宅リフォーム工事に助成を行うことで良好な住環境の向上を図るとともに、地域経済の活性化に寄与するため条例を提案しました。

自民、公明党からは、「何でも助成すればいいとか、足立区政では無理」と言



って否決しましたが、区のリフォーム助成は幅広い選択肢の中から絞って行うもので、上限は決まって1回限りというものです。また「総合的に判断していかがなものか」という意見

もありましたが、区では耐震補強やバリアフリーのための工事に限定した助成制度はあっても老朽化した住宅の改善、自然エネルギー活用など時代の変化に対応したものがないからこそ、総合的に判断して必要なのです。地域経済の循環、活性化を図る経済効果は自治体によっては8倍から30倍になっています。全国400自治体で実施され、八潮市では利用が増加し522件実績があり、地域活性化に大いに役立っています。「賛同したい気持ち」などの発言もあり、一致点にもとづき一緒に力をあわせようと他党に呼びかけました。

生業資金貸付制度は昨年第4回定例会で区が廃止したため、日本共産党は要件を緩和して復活させる条例を提案しました。一般金融機関から融資を受けることが困難な世帯が増えてい

### 生業資金制度の復活を

課税世帯に限定する改悪を行ったため、貸し付け対象を非

### 特養ホーム5カ所増設

六月、西新井第2団地、入谷、古千谷本町」を明らかにしましたが、更なる拡充を求めました。

め、最高年87件あったものが1、2件へと激減し、都会福祉協議会の実施している制度は審査も決定も都社協が行うもので区が直接貸し出しでき



区の待機者は約4千人。緊急度が高いといわれる「A」ランクは約2千人

### 消費税を上げても社会保障はよくなりません。税金のムダ使いをやめ、大企業・富裕層に税の負担を求めよう!

### 胆道閉鎖症の早期発見に 役立つ母子手帳に「便色カード」導入

月第2回定例会でも取り上げましたが、自民・公明・民主がそろって「時期尚早」と言っている

### 学校図書館蔵書が実現

胆道閉鎖症は何らかの原因で胆汁が流れなくなる病気で出世児1万人に1人の割合で発症し、放置すると肝臓内に胆汁が滞り、肝硬変や肝不全で命を落とす危険性があり脳出血の合併症を起こす場合もあるものです。日本共産党は2011年3月第一回定例会で、母子手帳に「便色カード」を加え健診で早期発見に役立つよう提案し、6

### 東京電機大学・千住キャンパス 見学会に参加しました



3月30日、足立区議会は北千住東口にオープンする東京電機大学を視察しました。